

令和2年3月吉日
駒の学び舎
世田谷区立駒沢中学校
校長 棚田 和明

令和2年度に向けた改善方策

1 「キャリア教育・生き方教育を含めた進路指導の一層の充実」について

- (1) キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」である「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を育成する学習活動を総合的な学習の時間に位置づけて、学年の発達段階に応じた計画的・継続的な指導を展開する。
- (2) キャリア通信の発行や進路説明会案内の全校配布等を通して、保護者に対する本校キャリア教育についての情報発信を充実させる。

2 「生徒の学習活動の改善につながる評価評定のあり方の追求」について

- (1) 新学習指導要領の完全実施にむけた準備を進めていく上で、校内教員研修の課題の一つに「新学習指導要領における評価評定のあり方（仮）」を取り上げ、授業改善と評価のあり方について研修を深める。
- (2) 授業のまとめに「学習活動の振り返り」を適切に行って、生徒自身が自分の学習上の課題をつかみ、自分の学習活動の改善につなげられる指導を行い、主体的な学習を進められるように働きかける。
- (3) 保護者会や三者面談の機会を活用して、評価評定のあり方をていねいに説明したり、個に応じた学習活動の改善に関する助言を行い、保護者と連携・協力しながら生徒の学習活動改善を図る。

3 「アンケート回収率を上げて『わからない』の回答を減らす努力」について

- (1) これまで通りに学校だよりと学校運営委員会だよりを定期的に発行と地域社会への情報発信として町会の回覧板に学校だより等を載せること継続させる。好評を得ている。
- (2) アンケート配布から回収までの期間設定を長くしたり、学級担任から提出を促す働きかけを行ったりすることを継続させる。また、アンケート配布時に学校の教育活動を紹介する補助資料を作成添付する。
- (3) 保護者会や学校公開、PTA運営委員会等の機会を活用して、保護者と学年教員が懇談する機会の充実を図る。